



◇ 「カスタマーハラスメントに対する基本方針」を策定しました！

令和8年10月1日から、事業者カスタマーハラスメントへの対策が義務付けられます。利用者の皆様と職員がお互いを尊重し、安心して過ごせる環境を一緒につくっていただけるよう、法人として「カスタマーハラスメントに対する基本方針」を策定しました。

「カスタマーハラスメントに対する基本方針」

社会福祉法人京都障害者福祉センター

はじめに

当法人は、「障がいのある人とその家族が地域のなかで尊厳を保ちながら普通の暮らしができるように支援する。」という基本理念のもと、安全で安心なサービスの提供に努め、当法人のサービスを提供する方及びそのご家族のほか当法人に関係を有する方（以下、「利用者様等」という。）のご要望に真摯に向き合いながら、サービスの満足度向上に取り組んでいます。利用者様等からいただくご意見・ご要望は、サービス改善に欠かせない貴重な機会であると認識しております。

しかしながら、一部には職員の人格を否定する暴言や脅迫、暴力など、社会通念上著しく不当とされる言動が見受けられます。これらは職員の尊厳を傷つけ、就業環境を悪化させるだけでなく、安全・安心なサービス提供にも深刻な影響を及ぼす恐れがあります。

職員が安心して働ける環境を整えることは、結果として利用者様等とのより良い関係構築にもつながると考えています。

このような考えのもと、京都障害者福祉センターでは「カスタマーハラスメントに対する基本方針」を策定いたしました。

1. 当法人におけるカスタマーハラスメントの定義

当法人では、カスタマーハラスメントを「利用者様等から職員に対して行われる社会通念上許容される範囲を超えた言動であって、職員の就業環境を害するもの」と定義します。具体的には、以下のような行為を指します。あくまで例示であり、これらに限られるものではありません。

- ・暴力行為
- ・暴言・侮辱・誹謗中傷
- ・威嚇・脅迫
- ・職員の人格の否定・差別的な発言
- ・土下座の要求
- ・長時間の拘束
- ・合理性を欠く不当・過剰な要求
- ・会社や職員の信用を棄損させる内容や個人情報等をSNS等へ投稿する行為
- ・職員へのセクシャルハラスメント、その他ハラスメント、つきまとい行為など

2. カスタマーハラスメントへの対応（当法人内）

カスタマーハラスメントが発生した際には、職員の安全確保及び心身のケアを最優先に対応します。

また、職員が適切に対応できるよう、カスタマーハラスメントに関する知識や対処法を学ぶ研修を実施します。

さらに、相談窓口の設置に加え、必要に応じて弁護士など外部機関との連携体制を整え、職員が安心して働ける環境づくりを推進します。

3. カスタマーハラスメントへの対応（当法人外）

問題の解決にあたっては、冷静かつ合理的な対話を重視しています。

解決に向けて状況を正確に把握するために、必要に応じて録音・録画をさせていただく場合があります。収集した記録・データはプライバシーに配慮したうえで目的外使用はしません。

当法人がカスタマーハラスメントに該当すると判断した場合には、対応を中止し、以降のサービスの提供をお断りさせていただくことがあります。

また、悪質な行為と認められる場合には、警察への通報や弁護士など外部の専門機関と情報共有など連携し、法的措置を含めて厳正に対応いたします。

4. 皆様へ ～カスタマーハラスメント防止のために～

当法人では、今後とも、利用者様等と職員とのより良い関係の構築により、質の高いサービスの提供に尽力していきたいと考えておりますので、引き続きご協力くださいますようお願いいたします。

（本部事務局）

山科エリアTOPICS 【山科身体障害者福社会館】

◇ フードドライブ事業を開始しました!!



山科身体障害者福社会館では、地域貢献活動の一環としてファミリーマートと連携しフードドライブ事業を開始しました。

フードドライブとは、ご家庭で余っている未開封の食品を寄付していただき、必要とされる方や支援団体にお届けする活動です。食品ロスの削減と地域の支え合いにつながる取り組みとして、地域の皆さまにもご協力をお願いしています。

当事業所では、事業所内に回収ボックスを設置するとともに、区内ファミリーマート4店舗に設置された寄付受付BOXを利用者の方と一緒に定期的に訪問し、食品の回収を行っています。

皆さまからご協力いただいた食品は、山科区社会福祉協議会・京都市東部障害者地域生活支援センター「らくとう」の協力を得て、地域の必要とされる方や

団体に配布しています。

今後も地域に根差した事業所として、地域とのつながりを大切にしながら、誰もが安心して暮らせる地域づくりに貢献してまいります。



(山科身体障害者福社会館：小野 匠馬)

洛南・右京エリアTOPICS【うずまさ学園】

◇ イギリス名門バレエ団と、アン・ドウ・トロワ！

梅雨シーズンさなかの6月末。英国ロイヤル・バレエ団の団員さんが太秦センターを訪問され、うずまさ学園・太秦障害者デイサービスセンター合同での特別企画ワークショップが開かれました。

英国ロイヤル・バレエ団は、世界三大バレエ団の一つに数えられることもあるイギリスの王立バレエ団です。まさに世界トップクラスのバレエ団ですが、3年に一度のワールドツアーの際に各地で積極的な社会貢献活動を実施しており、普段バレエに接する機会のない方にバレエの楽しさを伝える活動も展開しています。ちょうどその折、今回は特別なご縁に恵まれて、当法人の太秦センターを訪れていただけることになったのです。

とはいえ、利用者さんも職員も、バレエについては全くの素人ばかり。一体どんなことをするのか、期待と緊張と好奇心とで胸を膨らませながらその時を迎えました。



そして、いよいよワークショップが開幕。当日来て下さったのは英国ロイヤル・バレエ団所属のピカリングさんとフォスターさん。お二人がインストラクターになって、私たちを非日常の世界へと導いてくれました。心地よい音楽に合わせ、きらきらと光るラバー製の大きなリングをみんなで引っ張って広げてみたり、それぞれが白鳥になりきって手足を伸ばしたり…それは敷居の高い古典芸術というよりも、全身を使って表現することの楽しさを感じさせてくれるような内容でした。

参加者の皆さんも思うがままに身体を動かし、生き生きとした表情と弾ける笑顔で会場がいっぱいになりました。終わってからも「楽しかった～！」「これ（白鳥の仕草で）、またやりたい！」といった声が飛び交い、皆さんにとって忘れられない時間になったようです。

今回のような貴重な機会はさすがになかなか得難いと思いますが、これからもこうした未知との出会いや体験を大切にして、利用者さんたちの心に響くような企画を考えていけたらと思います。



（うずまさ学園：山下 玄一郎）

伏見エリアTOPICS 【ふしみ学園】

◇ 夏祭りワークショップ

厳しい暑さが続いていますが、ふしみ学園では土曜日のワークショップや各班のレクリエーション等、無理なく楽しく取り組んでいただけるイベントを実施しています。



今年も8月1日（土）に、ふしみ学園で「夏まつり」を実施しました。

1ヶ月かけ利用者の方と職員が力を合わせ、夏まつりの飾り付けを作成し、前日に皆さん一緒に飾り付けを行いました。

班をまたいで取り組んだため、いつもと違う仲間とワイワイしながら準備を行い「みんなと出来て楽しかった！」と喜ばれていました。

当日は、「魚釣り」「輪投げ」「的当て」「ボーリング」ゲームと例年よりたくさんの模擬店が出店し大変盛り上がりしました。ご本人で仕上げた魚を釣

り上げたり、的である鬼の口めがけボールを投げ込まれたりと手作りのゲームを心ゆくまで楽しまれています。ご本人で選んでいただいたお弁当やお楽しみのアイスクリームを「おいしい！」と笑顔で召しあがり大満足な夏まつりとなりました。



◇ 調理実習を行いました



【ぐりぐら班】

6月22日に『焼きそば作り』を実施しました。

班の皆さんの力を合わせて塩味とソース味の美味しい焼きそばが完成し、コーンスープと一緒に頂きました。「またやりたい!」「今度はあれをつくろう」と、次回への意欲もたくさん溢れる、大満足の時間でした♪



【やっほう班】

残暑が厳しい中、身体をクールダウンし季節を感じる納涼会として『かき氷パーティー』を実施しました。2種類のシロップからお好みの味を選び、練乳とアイスをトッピングしたかき氷は「美味しい」と大変好評でした。

また、プロジェクターで映像を流し、和気あいあいとした楽しい交流のひとつとなりました。



（ふしみ学園：中筋 俊和・森川 由貴・植松 優香里）

サークル活動の紹介

法人初！！「ランニングサークル」始動

～ 走って、つながって、元気になろう ～

この夏、法人として初めてとなる「ランニングサークル」が誕生しました。部署を超えた6名のメンバーでスタートします。普段の業務では顔を合わせる機会が少ない職員同士も、「走る」という一つの目的で繋がり、共に活動していきたいと思っています。メンバーは随時募集しています。練習会だけ単発で参加も大歓迎です！！

主な活動予定

- 合同での練習会（2ヵ月に1回程度）
- リレーマラソン大会等への出場（現段階で具体的な大会は未確定）
- 親睦会

メンバー紹介・一言	
長原（伏見デイ・授産） 「走っている間は『無』になれます。又自然を肌で感じる事が出来、走り終えた後の爽快感は格別です！仲間がいるとより頑張れると思います！」	中村（支援センターらくとう） 「50歳からランニングはじめました！10キロ以上走ったことはありませんが、マイペースで参加したいと思います！」
小出（すてーじ） しばらくマラソンから遠ざかっていましたが、今回お誘いを受けて久しぶりにランニングシューズを引っ張り出しました。再び走れるのか自分・・・ 『健康な身体作り』を目標に、楽しみながら参加していけたらと思います！	溝内（すてーじ） この7年間で毎年フルマラソンに出場をして自分を高めています。 長距離走が好きなので、このサークル活動を通して、横の繋がりを深めたいと思います！ P.S 最近、下腹が出てきたような気がします…。ランニングを通してへこませます（笑）。
松井（洛南授産） 「少しずつでも走っていると、ちょっとした成長を感じるのがランニングの良さと思っています。自分のペースで参加したいと思います。」	奈佐（洛南会館） 「運動神経は良くないのですが学生時代から運動は大好きです。 年齢も40代後半になりましたので楽しく無理なく楽しみたいです」

走ることによって得られるもの、いろいろあります

- 運動不足の解消・体力づくり
- 気分転換になり、ストレス発散に効果的
- 夜ぐっすり眠れる、生活リズムが整う
- ふだん接点の少ない部署の職員ともつながれる
- 小さな達成感の積み重ねが、仕事へのやる気にもつながる

初回 合同練習会のお知らせ

日 時：9月18日（金）19時30分～

場 所：二条城外周コース

内 容：サークルメンバーによる、初めての合同練習会 外周コース（約2km）
を自身のペース、距離でランニング

対 象：法人職員どなたでも／初心者歓迎

「興味はあるけれど、続けられるか不安…」という方も大丈夫。タイムや距離を競うものではなく、無理のないペースで楽しく続けることを大切にしています。見学や1回だけの参加も大歓迎です！！

【参加・お問い合わせ】

ランニングサークル担当（長原）メールアドレス nagahara@kyofc.or.jp まで、お気軽にお声がけください。メンバー一同、あなたの参加をお待ちしています！！



NEW STAFF



うずまさ学園



Motonari Owada (大和田 素生さん)

ANIMAL / 動物に例えると

ラクダ。
色々な人と仲良く暮らせる
大人しい動物です。

MOTIVATION / モチベーション

利用者さんの笑顔。
プライベートの旅行。

FOOD / 好きな食べ物

カレー。
スパイスカレーが好きすぎて、
自分で作ったことも…

THOUGHT / 思い

自分の班だけでなく、
学園全体の利用者さんと仲良く
なりたいです。

ACTOR / 好きな芸能人

Kecori。
熊本県出身の
女性シンガーソングライター。
ライブにいきました。

MESSAGE / 上司から一言

利用者が楽しく過ごされることを最優先に
考えておられる優しい職員さんです。動物
の例えをラクダとし、「おとなしい動物」と
表現されていますが、内に秘めた福祉への
熱い思いを感じます。もっともっと利用者
と楽しいことをしてください！

これからのご活躍をご期待下さい！

(取材：支援センターらくなん：向井千賀子)



2026年 9月27日 12:30 OPEN

出演者

- 아가씨 [アガシ] (バンド)
- FGO (バンド)
- Happiness (ダンス)
- muko2 (アイドル)
- T.Y.Mセッション (バンド)
- Tahiti Here Ata (ダンス)
- アヤヲ&山田明義 (シンガーソングライター)
- 山科アメリカ民謡研究会 (バンド)
- 陵が岡児童館 (合唱・ダンス)

ステージの他にも

カラオケ

楽器体験

ドーナツなど販売

キッチンカー

ビール・ソフトドリンク

主催: 社会福祉法人京都障害者福祉センター

開催場所: 京都東野障害者福祉センター(京都市山科区東野中井ノ上町1-17)

地域で暮らし続けるために — 住まいと支え合いのかたち —

「親なきあと」も、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために、
住まいを考えることは、その人らしい暮らしを支えること。
当事者・家族の想い、支援者の実践、地域の力をつなぎ、
よりよい地域の未来を一緒に考えましょう。



第1部 基調講演

テーマ

「その人らしく暮らす」とは何だろう
住まいから考える「自分らしい暮らし」

講師



立田瑞穂氏

龍谷大学
社会学部
准教授

第2部 シンポジウム

テーマ

住まいを考えることは、
その人らしい暮らしを考えること。

シンポジウムで議論したいテーマ例

- 「本人の希望」と「家族の安心」はどう両立するか
- 地域に選択肢がないとき、相談支援は何ができるか
- 支援者はQOLをどのように評価しているか
- 「地域で暮らす権利」を実現するために必要な連携とは何か
- 制度ではなく地域資源をどう育てるか

実践報告



一人暮らし



空き家活用



シェアハウス



グループ
ホーム



その他

1. 日時

2026年 **10**月**2**日(金) 13:30～16:30 (受付13:00～)

2. 場所

京都テルサ 東館2階セミナー室
(京都市南区東九条下殿田町70)

3. 講師

立田瑞穂氏(龍谷大学 社会学部 准教授)

4. 対象

このテーマに関心のある方

5. 定員

100名(先着順)

6. 参加費

無料

7. 主催

京都市



地域で暮らし続けるために、
私たちにできることを
一緒に考えてみませんか？

お申込み方法

FAXまたは二次元コードからお申込みください。



FAX: 075-502-0084

二次元コード



お問い合わせ・実施機関

京都市東部障害者地域生活支援センター「らくとう」

京都市山科区竹鼻外田町8番地 エスポワール京都101号

TEL: 075-591-8856 FAX: 075-502-0084



京都市
CITY OF KYOTO

発行所管課名: 京都市保健福祉局障害保健福祉推進室
京都市印刷物第081375号 令和8年8月発行